

1学期の出来事より③ すこやかチャレンジの様子について



段ボール箱ジャンプ



ミニハードル



ボール投げ&キャッチ



肋木(ろくほく)登り



雲梯(うんてい)チャレンジ



本校の遊具(ジャングルジム&すべり台)

夏休みも後半に入りました。子どもたちのご家庭での様子はいかがでしょう。夏休み配信第3弾です。テーマは「本校の体力づくりの様子」です。

本荘小では、毎週金曜日の朝自習の時間を「すこやかチャレンジ」(通称:すこチャレ)という、体力向上のための活動を行っています。写真を見ておわかりの通り、1学期は、運動場や体育館において、サーキットトレーニングを中心に活動をしてきました。

昨年度までは、鬼ごっこやドッジボールの時間が多く、子どもたちも楽しみにしていたのですが、体全体を機能させるということを考えて、サーキットトレーニングがメインになっています。もちろん子どもたちは、大喜びでやっています。

校長 初任の頃(昭和63年)

もしかすると、保護者の方々の中には、子どもの頃に同じような活動を経験された方もおられるのではないかと思います。校長の私がまだ若者だったころには、「業間体育」という名前が、熊本県全体で使われていたように思います。まだ、学校に今よりもたくさんの遊具や木材でできたアスレチックフィールドがあった時代です。若き日の私たちは、業間(20分休み)になると、「さあ、やるぞー!!」とクラス全員を外に出し、全校児童で外を走ったり、遊具を使って運動したりしていました。ですので、今思うと「うわあー!!今から走らなんとか…、やだなあ〜(ー;)」と思っていた子どもたちもいるかもしれませんね。私の最初の教え子たちは13才年下でした。20代の私が担任した子どもたちは、30代後半から40代☺、ちょうど保護者の皆様の年代になるのではないのでしょうか。当時は、今よりも魅惑的な遊具が残っていた時代でした。現在の本荘小学校にある遊具は、滑り台、ジャングルジム、平行棒、雲梯、鉄棒、肋木、ブランコと安全面を考えて数が少なくなっていました。



(裏面に続きます)

まだ当時は、わき滑り（という名前だったような気がします）、回旋塔（かいせんとう）、登り棒、ターザンロープ、高鉄棒、回転ジャングルジム、空中シーソー？など、使い方によっては危険な遊具が学校や公園にあった時代でした。（校長先生の虫眼鏡をお読みください♪）子どもたちが、毎日、体を動かして遊んでいた時代です。

話がそれましたが、今の時代だからこそ、週に1回は、みんなで体を動かす時間が必要であると考えます。ただ、無理強いはしません。子どもたちが自分で考えて、自分の体力やペースに合わせて運動ができるように全職員で見守りながらやっております。だから、「すこやかチャレンジ」は、本荘らしいやさしい教育活動であると自負しています。（校長）

校長先生の虫眼鏡 「昭和の遊具」

ノスタルジックになりますが、昭和時代後期の学校や公園の遊具の写真を集めてみました。今思うと、使い方次第ではとても危険です。今の時代には、今の時代の遊具が必要なのだと思います。

参考：[昭和 遊具 - Google 検索](#)



回旋塔：怖い思いをしたことがあります。



空中シーソー：人気があった遊具です。



回転ジャングルジム：今考えると、やんちゃだったと思います。



木製アスレチック：初任校にはありました。